



「ロウバイ」が甘い香りを漂わせて咲いています。蟻梅と名前が付いてはいますがウメの仲間ではありません。

写真を撮ろうとカメラを構えると何やら得体の知れないものがぶら下がっているのに気が付きました。「ミノムシ」かと手に取ってみると中身がカラカラッと動いてビックリ！... あらためてのぞいてみても甲虫類の死骸のようでもあり？ 何かの卵のようでもあり？?? 恐る恐る中身を出してみても合点、「種」でした。調べてみると夏に実が出来るとのことで葉に隠れていて気が付かなかったようです。

ロウバイは種が出来たらすぐに種をまく「取播き」をすると発芽しやすいそうですが“実生”から育てると開花までには5年以上かかるとのこと。

冬の花の少ない大寒の頃から花を咲かせ、春が訪れるまでの寒さの厳しい季節に私たちを甘い香りで心とませてくれるこの花の「花ことば」は「優しいところ」。

私たちも地球上の全ての生物に「優しいところ」で接したいものです。

5年後の花と香りを楽しみに種を播いて「優しい心」を育ててみませんか。

《年間改善計画書・最終評価》

2月 は年間改善計画書最終評価の月です。来期に向けて適切な評価を行い、新たな改善に向けた準備を行ってください。

1. 今期の目標は達成できましたか。 <数値化>された目標に対しての評価を行ってください
2. 目標が達成できた場合は確立したシステムを今後も確実に実行して下さい。
3. 目標に達しなかった場合は原因を分析し、改善計画をより効果的にするための方法を来季の年間改善計画書の活動の中に考慮しましょう。
4. 来期/将来に向けて、部門で新たな目標への改善計画を立てましょう。



《家庭でできる省エネ》

パソコンにはスクリーンセーバーの機能がありますね。しかし、スクリーンセーバーにしても通常の動作と同じ位の電力を消費しています。長時間使わない場合は電源を落としましょう。また、スリープや休止状態にしたり、画面の明るさを調節（暗く）するのも有効です。それから、つい、忘れがちになってしまうのがドライブにCDやDVDなどを入れっぱなしにしてしまうことと、プリンターのスイッチを切り忘れてしまうことです。ドライブにCDやDVDが入ったままだと、パソコン起動時に読み込みが始まりその分電力を消費します。パソコンの電源を落とすときには、ドライブを空にしておくこと。そして、プリンターを使った時にはパソコンとともに電源を切っておくことを忘れずに。PCによって違いはありますが、『省エネモード』に設定する方法もあります。このモードで使うと電力消費を抑えつつバッテリーの寿命も伸びるそうですよ。

2014年4月9日 Windows XPのサポート終了を受けて社内パソコンを一齐に入れ替えています
これを機にパソコンの節電対策を改めて考えてみましょう

パソコンの節電～まとめ～



- ① 省エネモードを活用する
- ② 画面の輝度を暗くする
- ③ デスクトップのアイコンの数を減らす
- ④ ドライブにCDやDVDを入れっぱなしにしない
- ⑤ USB機器は使い終わったら外す
- ⑥ スリープ・休止状態を活用する
- ⑦ 長時間使わない時には電源を落とす
- ⑧ プリンターの電源を切り忘れない

